

【西日本広域豪雨復興支援ファンド】 三石耐火煉瓦株式会社に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社である REVIC キャピタル株式会社が、ロングブラックパートナーズ株式会社と共同で運営する「西日本広域豪雨復興支援ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、三石耐火煉瓦株式会社(以下、「当社」という。)に対する投資を実行しましたので、お知らせいたします。

当社は 1892 年に耐火物の製造所として岡山県備前市にて創業し、事業譲受を受ける形で新工場を拡張するなど業容を拡大してきました。2018 年の工業統計調査によると、岡山県は耐火レンガの出荷額・事業所数ともに国内シェア第1位であり、県内最古参の事業者の1社である当社は、その一翼を担ってきました。

また、当社が 2011 年に開発した放射線遮蔽能力を持つセラミックス「RASHIX®」は、コンクリートと比較して、同じ遮蔽効果を得る場合に必要な厚みを約半分に抑えられるなどの画期的な特長を持った製品であり、現在までに日本を含む5か国で特許を取得しています。加えて、材質の性能面のみならず、RASHIX®を用いて放射線を遮蔽する場合には、レンガを積層施工することで放射線遮蔽物を建築できるため、コンクリート打設が必要になる在来工法よりも施工性に優れ、短工期かつ工事騒音や粉塵発生・飛散の大幅な抑制が可能となっています。



こうしたメリットがある RASHIX®は、原子力防災関連施設はもとより、放射線治療を実施する高度先進医療施設や研究施設などに採用されています。当社は、同事業を新たな事業の柱へと育てるべく、引き続き事業を推進していく予定です。

その一方で、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、当社の主力得意先である鉄鋼メーカーにおいても高炉の一時休止等の対応がとられており、粗鋼生産工程の消耗品である当社製品の需要も減少傾向にあります。本ファンドは、新型コロナウイルス感染症の影響による経営環境の悪化に対応しつつ、新たな事業創出を目指す当社の事業基盤がより確固たるものとなるよう、金融取引の安定化や組織体制の構築等を支援します。

本投資実行を通じて当社の事業継続性を高め、地場産業の活性化を図ることは、豪雨被災地域の経済復興に資するものであり、本ファンドの趣旨にも合致するものと考えています。

今後も、本ファンドは豪雨災害からの復興に貢献するため、並びに新型コロナウイルス感染症の影響による経営悪化に対応するため、対象 13 府県(*1)の事業者等に対する投資を行ってまいります。

す。

(*1) 広島県、岡山県、愛媛県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県、高知県、兵庫県、京都府、岐阜県、徳島県及び香川県

【投資先の概要】

企業名	三石耐火煉瓦株式会社
本社所在地	岡山県備前市
設立年月	1892年12月
代表者	万波 有道
事業内容	耐火物製造販売、各種セラミックス製造販売

【RASHIX®の導入事例】

■ 医療施設への導入事例

治療室・検査室の新築・改修に際して RASHIX®が採用されています。

https://mtaika.jp/rashix_lp/business/s2.html

■ 原子力防災関連施設への導入事例

各自自治体の災害対策として RASHIX®が導入されています。

https://mtaika.jp/rashix_lp/business/a1.html

【西日本広域豪雨復興支援ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/34.html> 機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590